

「令和5年度 就労ボランティア体験事業」提案評価表

分野・審査項目・評価内容	対象書類※	配点
1 事業内容		35
(1) 参加者の特性や状況に応じ、自立助長(日常生活自立・社会生活自立・就労自立)に効果的で、多様なメニュー(ボランティア、セミナー等)を提供できるか。	応募申請書 企画提案書	10
(2) 就労体験及びボランティア体験の場となる協力事業所は十分にあるか。また、開拓方法が効果的か。		10
(3) 事業計画について、参加者の意識向上やマンネリ化防止が組み込まれている計画となっているか。		10
(4) 提案内容に実現性があるか。		5
2 生活保護及び生活困窮者自立支援業務		20
(1) 生活保護、生活困窮者自立支援行政及び生活保護受給者、生活困窮者の現状や支援の必要性を理解しているか。	企画提案書	5
(2) 生活保護担当部署、自立相談支援事業所及び協力事業所との連携体制は適切であるか。		10
(3) 守秘義務の徹底を図れるか。		5
3 アピール事項		20
(1) 対象者及び各関係機関に対する事業の周知活動等が具体的であり、より多くの参加者を得られる見込みであるか。	企画提案書	10
(2) 利用者が事業参加後も引き続き社会参加できるような仕組みを構築しているか。		10
4 事業実施能力		20
(1) 事業を実施するために十分な職員配置計画となっているか。また、配置職員の資格及び経歴等が事業実施に当たって望ましいものであるか。	応募申請書 企画提案書 積算書	5
(2) 事故発生時のマニュアル、手順書等があり、適切な対応が可能か。		5
(3) 本事業に類する事業で良好な実績を有しているか。		5
(4) 応募者の組織及び財務状況は健全であるか。		5
5 積算		5
事業費の積算は妥当か。	積算書	5
※対象書類等の記載から読み取れない項目についてはヒアリングを行う。	合計	100